令和４年３月１日
No. 104 号
山形市立第四小学校
校長　日髙　伸哉
＜児童数　１９２名＞
TEL 623-6019

待ってるよ・・・新一年生へ「やさしさのバトン」

とどけ！　１年生スマイル学年の思い

～山形新聞に記事掲載…動画メッセージ＆プレゼント～

２年生ひまわり学年から受けついだ「やさしさのバトン」。

昨年の２月、当時の１年生（ひまわり学年）が、コロナ禍の中、学校訪問ができない新一年生に何かできることはないかを考え、自分たちで動画などを作成し、オンラインで届けました。その思いを受け取ったのが、現在の１年生（スマイル学年）で、各々の幼稚園・保育園の卒園児の時のことです。

あれから１年の月日が経ち、成長したスマイル学年が、次に入学する卒園児に向けて動画メッセージを作成しました。「やさしさのバトン」のリレーです。記事にもあるように、「自分たちがしてもらったから、またしてあげたい」という願いのもと１人一台のタブレット端末を活用して、互いに撮影し合いました。

２月１６日（水）からオンデマンド配信をしています。

新入生 待ってるよ

山形四小１年生が動画制作

工夫凝らし、学校紹介

山形

「みんな、待ってるよ」―。山形市の山形四小（日高伸哉校長、192人）の1年生30人が、4月に入学する新1年生のために学校紹介の動画を制作した。学校行事や校内施設などについて分かりやすく伝えようと、せりふや画角などに工夫を凝らし、学校生活への期待を膨らませてほしいとの願いを込めた。

1年生は、現在の2年生が制作した動画を見てから入学した。藤内慧君(7)は「自分たちがしてもらったから、またしてあげたいと思った」と話す。細谷拓真君(7)は「映像を見て小学校が楽しそうなところだと感じてほしい」と期待を込める。編集などに携わった担任の佐藤支保教諭(30)は「新型コロナで会えなくても伝えられることがあって完成させた。

例年は2月に開く新入生の保護者説明会で、1年生が新入生に学校案内などを行っていた。しかし、新型コロナウイルス禍により、昨年と今年は直接触れ合っての交流が難しい状況に迫られた。こうした中でも、小学校への理解を深めてもらおうと、昨年に続き1年生が動画作りを担った。

児童たちは1人に1台割り当てられているタブレット端末を活用し、互いの姿を撮影し合った。学校に関するクイズを考えて出題したり、イメージがつかみやすいように力メラアングルを工夫したりと、試行錯誤を重ねた。先月上旬から構想を練り、1カ月ほどかけて完成させた。

動画は16日から、新入生と1年生の保護者向けに公開している。1年生は他にも、新入生のために紙製のメダルを手作りしてプレゼントするなど、さまざまな形で歓迎の気持ちを伝えている。（伊豆田拓）

新入生のための動画作りに取り組んだ山形四小の１年生＝山形市・同校

3/11 感謝の会　６年生への思いもとどけ！

「Teams」によるオンライン「ライブ通信」を予定

現在、５年生きずな学年を中心に、６年生への感謝の会を企画しています。オミクロン株のコロナ感染拡大が懸念され、一同が会することが難しい中での「工夫と挑戦」です。ICT（Information and Communication Technology）を活用し、各教室に居ながらにして対話をします。事前動画収録もありますし、各教室でも３密・４絶を意識した活動になります。どこまでできるか、やってみるからこその価値です。

５～１年生の「ありがとう」の思いが、６年生にしっかり届きますように…。